

映画上映会

石原慎太郎 原作

太陽の季節

二本立て「狂った果实」

昭和の大スター、
石原裕次郎デビュー作品。



9月30日(金)・10月7日(金)
17時開場 18時開演
逗子文化プラザ
なぎさホール

鑑賞券一〇〇〇円にて発売中!

逗子市観光協会窓口

逗子市商工会窓口 046(873)2774

キングストア逗子店サービスカウンター

スズキヤ逗子駅前店サービスカウンター

逗子レコードショップ・ヤジマレコード

主催 文学記念碑「太陽の季節」設置実行委員会
問合せ 逗子市観光協会 046(873)1111

作品解説

太陽の季節

古田卓巳監督・脚本作品
日活株式会社製作・配給

狂った果実

中平康 監督・脚本作品

石原慎太郎が芥川賞を受賞し、センセーショナルを巻き起こした同名小説の映画化。昭和三十年代はじめ、当時の若者が夢中になった『太陽族ブーム』の火付け役であり、昭和の大スターでもある弟・裕次郎が世に出るきっかけにもなった、歴史に残る作品といえる。ある仲間の話として弟から聞いた話を、わずか三日で小説にしたことや、日活との映画化交渉に

おいても、弟と二人で出かけていき、新人としては破格の約料を取ることになったという、その後お互いに時代の寵児と なっていき、石原兄弟の強力タッグが、この映画の背景にある。

石原裕次郎の本格的デビュー作品となった本作は「太陽の季節姉妹編」と銘打たれていたが、中平康監督のスタイリッシュな演出と、兄弟（裕次郎と津川雅彦）が美しい人妻（北原美枝）を奪い合うという、衝撃的なストーリーが話題になった。撮影は逗子・葉山の海を中心に行われ、劇中に大崎や浪子不動を見ることが出来る。他に、最初のシーンには国鉄逗子駅が、途中には逗子銀座通りや駅前広場が登場する。



↑撮影の合間のひととき。裕次郎のくつろいだ表情にはまだ幼さが残る。左は原作者の石原慎太郎、右は南田洋子。

←「狂った果実」撮影のころか。葉山のヨットハーバー付近。スラリと伸びた足が美しい女性は北原美枝。左は裕次郎。

この秋、逗子海岸に新しい‘海のランドマーク’が登場！ —文学記念碑「太陽の季節」—



文学記念碑「太陽の季節」完成予想図

弟・裕次郎とともに青春時代を逗子で過ごした、石原慎太郎さんの芥川賞受賞作「太陽の季節」。その記念碑が、作品の着想にかかわり縁も深い逗子海岸の東浜に、この秋建立されます。

この事業にご参加・ご賛同していただける方を募集しています。

太陽の季節「ハイロ・タイル」

文学記念碑建立場所に新しくできるポケットパークを飾るタイルに、みなさんのメッセージをきざんでみませんか。一口二万円より。詳細は問合せ先へ。

ご寄付について

※観光協会窓口もしくは下記まで。
横浜銀行逗子支店 普通1501966
逗子市観光協会文学碑設置委員会
代表 和田修芳